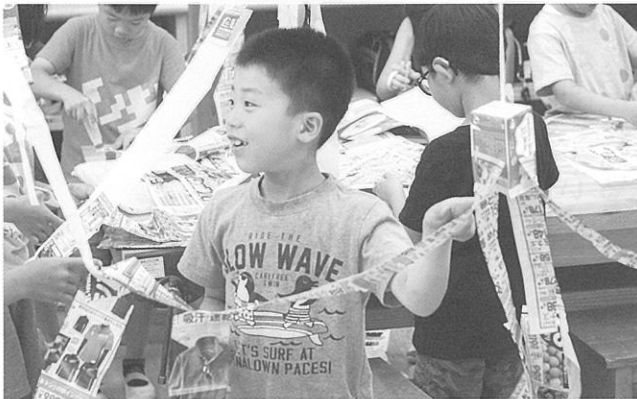


香美町ならではの 教育の挑戦

●問い合わせ先 町教育委員会教育総務課

小規模校のよさを生かした教育環境

本町には小学校 10 校・1 分校、中学校 4 校、幼稚園が 9 園ありますが、そのほとんどが小規模校であり、1 学級当たりの園児、児童・生徒数や教職員一人がかかわる園児、児童・生徒数が少なく、個別指導がしやすい教育環境にあります。このことを強みと捉え、一人一人を認めて育てる個に応じた指導に積極的に取り組むなど、学習の充実に努めています。



▲一人一人の自由な発想を生かした図工の授業



▲学校間スーパー連携チャレンジプランによる合同授業の様子

学校版教育環境会議とは

学校版教育環境会議は町内の全小・中学校が毎年一定の時期に開催する会議で、校区の保護者や将来その学校に通う予定の子どもの保護者、地域の皆さんを対象にしています。

同会議は、各学校での教育に対するビジョンや方針、取組内容や実践活動などを説明し、保護者や地域の皆さんに校区の教育について理解していただくとともに、学校統廃合について確認をしています。「当該学校が魅力ある学校か」「地域の特色がある教育を行っているか」「信頼できるか」などの評価を受け、保護者や地域の皆さんが学校を高く評価し、信頼関係が続いている場合は、学校を存続させていくこととしています。しかし、出席者の 3 分の 2 以上が他校との統廃合を望ましいとし、統廃すべきであると判断した場合は、町長に対し、当該学校の廃止について、書面によって意思表示を行うことになっています。

昨年度のアンケートでは、「学校の目指す方向や取組内容への理解が高まった」「少人数学級での取組が進化していることを実感」というような肯定的な意見や「少人数での学校生活、校外生活に対する不安がある」「部活の選択肢の少なさが不安」というような児童生徒数の観点から見ると不安であるという意見もありました。各学校はアンケートでいただいたご意見や結果に基づき自校の取組を確認し、改善を図っています。



▲長井小学校の学校版教育環境会議の様子

本年度も 10 月から校区ごとに同会議を開催しています。子どもたちや地域の将来を考えていただく大切な会議です。各学校から開催のお知らせをしますので、多くの皆さんの参加をお願いします。